

ホログラムを用いた超次世代端末の提案
(実習の進捗発表)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-05-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 岡野, 真空, Michael, Hiro, 稗田, 星, 寒川, 祐大 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00027434

ホログラムを用いた超次世代端末の提案

岡野 真空(情報科学科), MichaelHiro (情報科学科), 稗田星 (情報科学科), 寒川祐大 (情報社会学科)

近年, パソコンやスマートフォン, iPad など新たなコンピューターデバイスが生まれてきた. そこで私たちは, ホログラムを用いた超次世代型デバイスを提案したいと思う. 現在使われているスマートフォンには, 画面が必要不可欠で最小化に限界があること, 利用できる画面が狭いこと, 三次的な表現ができないことの三つの欠点がある. そこで, 立体ホログラムを用いることでこれらが解決できないかと私たちは考えた. ここで重要になるのは立体ホログラムの技術であるが, 文献による調査の結果 (Ochiai et al. 2015; Seki et al. 2015) , 二十年後のホログラムは触れることができ, ディスプレイも不要になると予想できた. 画面上でしか行えなかった処理が空間の利用により実用性のあるものへと進化するのである. この新デバイスの利点は立体的な表現ができること, 利用できる画面が広いことなど様々だ. スマートフォンの超次世代型といえるこのデバイスが実現されることで, デジタルデバイドの解決や利便性の向上が予測される.

(学習マネジメント,担当教員:宮崎 誠)